

つどい

北海道偕行会全道大会

北海道偕行会の第75回全道大会を、ご来賓に北部方面総監・田浦止人陸将を、講演会講師に元北部方面総監・志方俊之先生をお招きして、11月5日「ネストホテル札幌駅前」で開催した。志方先生の帝京大での教え子を含む北大院生2名も特別参加し、総員29名の大会であった。

志方先生には「世界の情勢が大きく変化する中で、日本の立ち位置は？」と題して1時間半のご講演をお願いした。現今の世界情勢の変化を、テロの脅威、技術革新の波、理想主義の疲弊、北鮮の危険性、中国の大国化、日本を見る目の変化、の6項目で具体的事象を示しつつ説かれた。日本の選肢肢は種々あるが、各

選肢肢の必要性（メリット）とその反作用（デメリット）を論理的に詰めれば、選肢肢はおのずから限られる。そして「武士道」が日本の防衛思想・防衛政策の指針たりうると締めくくられた。明快にして感銘深いお話であった。

懇親会は、国歌斉唱、物故者10名への黙祷の後、会長（自60大須賀）が今年度をもって退任するにあたり、関係各位のこれまでのご支援に感謝の意を表した。田浦総監はご挨拶の中で、方面隊戦車射撃競技会の3対抗部門（連隊・中隊・小隊）で、赤羽根会員（自61）のご子息が連隊長を務める第72戦車連隊が全て優勝をさらい、その精強ぶりを示したことを紹介された。赤羽根会員は恐縮しきりであったが、同慶の至りと一同感服した。



田浦総監も又かつて連隊長として同連隊を統率されたことがある。次いで、一般の総選挙で惜敗した前衆議院議員・高木会員（自83）が挨拶に立って雪辱を誓い、乾杯の音頭をとって懇親会に移った。

田浦総監のほか担当課長・篠原1佐も交え、従前会員と陸自OB会員、また特別参加の北大院生も、それぞれ席をめぐって歓談・交流し、途中に「軍歌演習」を挟んで、大いに盛りあがった一時間半であった。宴の最後は、恒例により北部方面隊歌と陸軍士官学校校歌を声高らかに



平成29年11月5日 北海道偕行会 全道大会 於 ネストホテル札幌駅前

に合唱した後、参加者中の最若手・自
104北田会員の発声で万歳三唱し、
大会の幕を閉じた。

参加者（氏名既出者を除く）は、55古
川、58加藤（佳夫）、60加藤（正二）、61
松尾・丸谷・小森、自59星野、65穴口・
吉田・楨田、73細島、74岡本、75相馬・
齋籐、76中矢・佐々木、79梶原、81牧野、
86斗賀山、北大院生（公共政策学）Fさ
ん・T君。（65木村記）